

阪神間モダニズム  
テーマに公開講座

14日、西宮で

明治末期から昭和初期にかけて花開いた「阪神間モダニズム」の歴史的意義や文化について学ぶ「阪神間モダニズム1900-1940」未来に生かすその精神風土」が14日、西宮市戸崎町の武庫川女子大学甲子

園会館で開かれる。

兵庫県と武庫川女子大、学校法人甲南学園が主催。

オープニングは、いけばな小原流の小原宏貴家元とバイオリニストの山中裕平氏が、華道と音楽のパフォーマンスを披露。武庫川女子大の三宅正弘准教授らが郊外住宅地として発展してきた阪神間の歴史を語るほか、「阪神地域の未

来—ライフスタイル・文化」と題したパネル討論もある。

午後2時15分から。先着150人。無料。インターネットサイト (<https://hanshin-modernism.com/>) から申し込む。問い合わせは「Kiss F M KOBÉ」内の事務局 ☎078・3222・0889